

2025 年 12 月 13 日 八ヶ岳 赤岳

メンバー L 岩田(記録) 谷内 森田

北アルプス方面は雪が多いようなので八ヶ岳も、と期待されるが、残念ながらあまり雪がない冬山はじめとなった。

暗い中、美濃戸から南沢の樹林帯を歩き始めると少し雪があるが、新雪で凍っておらず歩きやすい。ただし寒さはまあまあ。-10℃は下回っている。途中大同心、小同心が見えるが全く雪がない。どうやら稜線まであまり雪は期待できないようだ。

いい感じに温まって、行者小屋着。ここで装備を整える。ヘルメット、アイゼン、ピッケル、念のため持ってきたハーネスを装着。文三郎尾根に取り付く。赤岳主稜にパーティーが取り付いていて、すぐ近くに見えコールもよく聞こえる。文三郎には朝日はあたらないが、気温が上がってきて風もあまり強くない。そうは言っても文三郎は疲れるのでゆっくり登る。稜線まで登ると富士山が見え、力づけられる。ほどなく山頂着。

山頂も風弱く、雪なく、景色は最高。山頂をしっかりと堪能できた。それなのに我々の他に誰も登山者が居ない。今日の赤岳は駐車場から山頂までずっと人が少ない。秋から冬への中途半端な感じで雪が少ないからか？

展望荘までの下り、雪があると急な下りで危険だが、ほぼ雪無し。アイゼンで岩の急坂を下ることになるため、余計に危険。慎重に滑らないように下る。地蔵尾根に入るとやはり雪少なく、階段にもほぼ雪無し。金属面でアイゼンを滑らせないように慎重に降りる。一気に行者小屋まで下りて装備解除。新調した冬靴で本日初山行の森田さん、これまでは靴が足に合わず特に下りでかかとがカパカパして歩きずらかったと言うが、今日は足にフィットした靴で、歩きも安定して下り速度も速かった。良かったですね！

美濃戸まで一気に歩き、下山。快調な歩行で予定より早い下山となった。

【コースタイム】

5:30 美濃戸
7:40 行者小屋
文三郎尾根
10:00 赤岳
10:40 展望荘
地蔵尾根
10:30 行者小屋
13:20 美濃戸



行者小屋間近 テンション高い



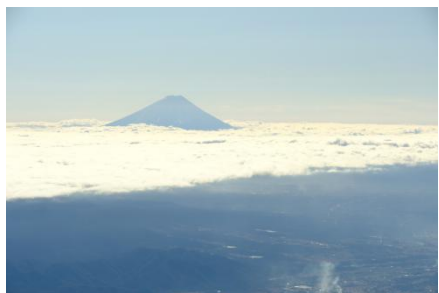
文三郎の登りはつらい



もうすぐ赤岳



赤岳山頂 珍しく誰も他に登山者が居ない



赤岳山頂では必ず富士山を撮る



粉砂糖がかかった林と阿弥陀岳



大同心 雪がない クライマー有